

第五小学校増築校舎周囲の地面の陥没について

1 経過

6月5日（月）

- ・ 台風2号が梅雨前線を活発化させ、線状降水帯による大雨をもたらした影響について、出勤した教職員が校舎及び校庭等を確認したところ、令和5年4月に竣工した増築校舎のコンクリート基礎の外側に近接する地面の一部が陥没していることを発見。
- ・ 児童等が立ち入らないように、直ちに教職員によるカラーコーンを設置し、安全対策を実施。
- ・ 市職員及び校舎増築工事の施工業者が、陥没箇所を含む周辺及び建物内部等の状況を目視にて調査。
- ・ 数か所の陥没があったが、増築校舎の傾きや亀裂等はなく、また構造上重要である増築校舎のコンクリート基礎工事の施工状況を再度確認し、地耐力に適した基礎工事を行っており、増築校舎自体の沈下の心配はなく、安全性には問題がないことを確認。
- ・ 施工業者及び施工監理者に対し、児童や教職員への安全対策を早急に行うとともに、陥没の原因調査及び復旧方法について報告するように指示。

6月8日（木）

- ・ 室外機基礎部分及び排水設備部分の地面（裏面①②③）については、想定を超えた降雨により更なる地面の沈下による陥没が起こる可能性があり、設備等が損傷する可能性があるため、砂を入れる等の仮復旧の対応を実施。

6月9日（金）

- ・ 保護者に陥没の発生及び増築校舎の安全性等を周知。

2 今後の対応等

- ・ 陥没の原因究明及び今後の復旧方法については、地中の状態を調査・確認する必要があるため、現在、対応等について検討中。
- ・ 決定した対応方法に基づき、児童の安全面に配慮するとともに、学校運営に支障がないよう工事日程を調整し、施工業者による復旧工事を実施。また、保護者及び近隣自治会へ復旧工事の実施を周知。

3 陥没等の状況

